

系 統

弱溶剤反応硬化形エポキシ樹脂系シーラー

特 長

- 1) エポキシ樹脂を使用することにより、下地に対する抜群の密着性を実現しました。さらに弱溶剤系のため、既存塗膜を侵したり、リフティングさせる心配がなく、塗替用途に最適です。
- 2) 水性シーラーに比べ浸透性が良好であり、ケイ酸カルシウム板などの脆弱面への固着性に優れています。
- 3) 1液形塗料であり、2液形塗料で問題になる調合ミスや、残塗料の無駄が生じません。
- 4) 弱溶剤形のため、臭気がマイルドであり、ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆で環境に優しい塗料です。

塗料性状

色	(淡褐色) 透 明
仕 上 り	平 滑
乾燥時間 (23℃)	1.5時間
危 険 物 分 類	第四類第二石油類
労安法による表示	製品に表示
有 機 溶 剤 区 分	第三種有機溶剤等
容 姿	1液性
容 量	14kg

適合下地

- コンクリート ● モルタル ● PCパネル ● スレート
- せっこうボード ● 合板 ● 塗替下地(リシン面、吹付タイル面)
- けい酸カルシウム板(密度0.8以上)* ● 押出成形セメント板 ● 新生瓦
- 窯業素サイディングボード *乾式耐火被覆板などは塗装できません。
- ALCパネル(新設ALCパネル面は、ラフトンフィラー等を塗り付け平滑にしてください。)

適 合
上 塗 塗 料
(主な商品名)

- 合成樹脂エマルジョンペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダン100)
- つや有合成樹脂エマルジョンペイント(グロリス、ラフトンEMエナメル)
- 水性反応硬化形樹脂塗料(エコシリーズ)
- 低VOC・水性反応硬化形樹脂塗料(ユニシリーズ)
- 特殊アクリル樹脂塗料(アクリルバーン)
- 弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料(1液ワイドウレタン、ワイドウレタン)
- 弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料(1級ワイドシリコン、ワイドシリコン)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ビューレ、セラビューレ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボ)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタック、ラフトン弾性スタック)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュクリーン)
- 個性創造仕上塗材(ニュートーン)

*塗装時、既存塗膜が塗料用シンナーなどの弱溶剤で溶解する場合は、「ワイドシーラーEPO」+弱溶剤系上塗りの工程でチヂミを生じることがありますので、ご注意ください。また、強溶剤系塗料を上塗りに使用することはできません。

標 準
塗 装 仕 様

塗 料	調 合 (重量比)	標 準 塗 付 量 (kg/m ² /回)	塗 装 間 隔 (23℃)
ワイドシーラーEPO	100	0.10~0.17	3時間以上

塗付量は、下地の状態により増減してください。
粘度調整が必要な場合は、塗料シンナーを用いて希釈してください。

塗装方法

- はけ塗り ● ローラー塗り ● スプレー塗り ● エアレス塗り

塗替時の
注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・ちぢみ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。ふくれ・ちぢみ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

塗装上の
注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタンス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、希釈せずに、そのままご使用ください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 塗装器具の洗浄は、ラッカーシンナーの方が容易です。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)